

HUBプロジェクトの概要一覧（R7.6.18設定分）

NO	プロジェクト名	背景・目的	取組概要	役割分担		取組期間
				組織名	活動内容	
8	未来へすだちを繋ぐぞ！！共創プロジェクト (農業)	【背景】 すだちの収穫量が減少傾向となる中、株式会社トリドールホールディングスでは、徳島県やJA全農とくしま等との包括連携協定の元、様々な取組を実施してきた。 今後のすだちの安定生産・供給の課題解決を図るためには、新たに生産や貯蔵分野からの参画を得て、より大きな枠組みで取り組む必要がある。 【目的】 すだちの生産・貯蔵・流通・未利用資源の活用を通じた産地の維持・拡大を図り、未来へすだちを繋ぐことを目指す。	【活動内容】 すだちの出口戦略を見据えた生産振興に加えて、「最適な貯蔵技術の開発」による周年安定供給体制の確立や、「スダチの未利用資源（皮、搾汁かす）を活用した商品開発」によるアップサイクルモデルの構築などに取り組む。 ・長期貯蔵技術の実証・評価 ・簡易包装流通モデルの構築 ・未利用資源を活用した商品開発 ・耕作放棄地再生によるスダチ園地化 ・新品種「勝浦1号」の導入拡大	株式会社TGF	・チームリーダーとして、プロジェクト全体を統括 ・実需拡大に向け、貯蔵すだちや加工品の川下展開 ・簡易包装流通・冷凍すだちの開発・流通	R7～R9
				ZEROCO株式会社	・貯蔵技術の実証（冷凍・冷蔵）	
				JA全農とくしま	・プロジェクト全体の物量・物流の管理 ・新品種の産地導入	
				まるきん農園	・すだち園地での生産拡大 ・新品種の改植	
				喜多機械産業株式会社	・耕作放棄地のすだち園地への整備	
				NPO法人未利用資源事業化研究会	・すだちの皮や絞りかすを活用した うどーナつ用パウダー、すだち胡椒等の調味料を開発	
				徳島県立農林水産総合技術支援センター	・貯蔵品質の評価や、最適な貯蔵法の検討 ・新品種の産地導入や、省力栽培技術の開発	
9	ミニトマトの安定生産を実現する送風受粉機の開発 (農業)	【背景】 県農林水産総合技術支援センターでは、施設ミニトマトの慣行の受粉管理法（ホルモン処理、花粉媒介昆虫）に代わる新たな方法として、風の力を利用する「送風受粉」の技術開発を進めてきた。 【目的】 「送風受粉機」の試作、実証、改良を通じて、機械開発を目指す。	【活動内容】 「送風受粉機」の試作や実証試験を行い、機械仕様（送風速度、送風口の上下動、電動等）の評価・検証・改良を進めるなど、送風受粉機の開発に取り組む。 ・送風受粉機の試作・改良 ・送風受粉機の現場実証	徳島県立農林水産総合技術支援センター	・チームリーダーとして、プロジェクト全体の総括 ・送風受粉機（試作機）の現地実証試験 ・実用化に向けた受粉に最適な送風方法の検証	R7～R8
				徳島工業短期大学	・十分な送風速度、送風口の上下動、電動等、 種々の仕様を具備する試作機の開発	
				みのるファーム株式会社	・送風受粉機（試作機）の現地実証試験	
				JA徳島県	・送風受粉機（試作機）の現地実証試験に協力	